



平成 30 年 3 月 30 日  
九州地方整備局

### 平成 30 年度より阿蘇山（阿蘇カルデラ内）において 直轄砂防事業に着手します

平成 28 年熊本地震とその後の降雨により、甚大な土砂災害が発生した阿蘇山（阿蘇カルデラ内）において、平成 30 年度より直轄砂防事業に着手します。

- 阿蘇山（阿蘇カルデラ内）において平成 28 年熊本地震とその後の降雨により、斜面崩壊・土石流が発生し、人家や重要交通網（国道 57 号・JR 豊肥本線等）を始め甚大な被害が生じました。
- 平成 28 年以降、熊本県や国直轄により、砂防施設の緊急的な対策を実施してきましたが、現在も渓流や山腹等に多量の不安定土砂が残存し、土石流・流木被害及び土砂洪水氾濫被害のリスクが高まっています。
- このことから早期に対策を実施し土砂災害の防止・軽減を図るため、国土交通省では、平成 30 年度より阿蘇山（阿蘇カルデラ内）において直轄砂防事業に着手します。

#### 【事業概要】

事業名 : 阿蘇山直轄砂防事業  
事業内容 : 砂防堰堤工 等  
全体事業費 : 約 150 億円  
事業期間 : 平成 30 年度～平成 39 年度（予定）  
実施機関 : 熊本復興事務所

#### 【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 河川部 河川計画課長 坂井 佑介  
建設専門官 江口 秀典  
電話 : 092-471-6331 (代表)

# 阿蘇山直轄砂防事業(平成30年度新規)

- 阿蘇山(阿蘇カルデラ内)において平成28年熊本地震とその後の降雨により、斜面崩壊・土石流が発生し、人家や重要交通網(国道57号・JR豊肥本線等)を始め甚大な被害が生じた。
- 平成28年以降、熊本県や国直轄により、砂防施設の緊急的な対策を実施してきたところ。
- しかし、現在も溪流や山腹等に多量の不安定土砂が残存し、土石流・流木被害及び土砂洪水氾濫被害のリスクが高いことから、早期に対策を実施し土砂災害の防止・軽減を図る。

## 平成28年熊本地震

- H28熊本地震とその後の降雨による人的被害：15名
- 交通網被害：  
国道57号・国道325号・JR豊肥本線など

H28熊本地震による阿蘇大橋地区の斜面崩壊

阿蘇大橋地区

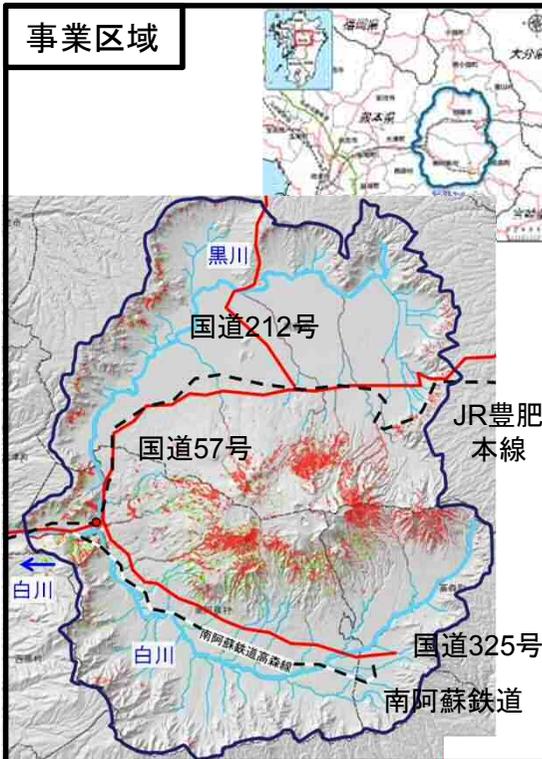


地震後の降雨で新たな斜面崩壊や土石流が発生

立野地区



## 事業区域



- 事業区域
- 熊本地震直後の土砂移動域
- 降雨後の土砂移動拡大域

- 事業区域内の市町村  
阿蘇市・高森町・南阿蘇村
- 重要交通網  
国道57号、国道325号、JR豊肥本線

## 事業概要

### 【全体計画】

事業内容：砂防堰堤工等  
全体事業費：約150億円（※工事諸費等を含む）  
事業期間：H30～H39(予定)

### 【実施機関】

熊本復興事務所

砂防堰堤(イメージ)



## 事業の効果

集落や主要道路の土石流による直接的な被害や、河川への土砂流出による土砂洪水氾濫を軽減。

### ＜被害軽減効果＞

- ・家屋数約600戸について、土石流による被害を防止
- ・重要な幹線(国道57号・325号、JR豊肥本線等)について土石流による被害を防止・軽減